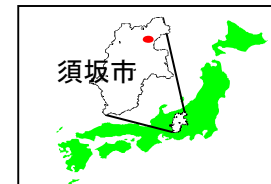


須坂市地域公共交通会議

平成20年4月24日設置
平成21年3月23日連携計画策定



概要

地域に適した効率的な運行形態で、全市的な公共交通ネットワークの再編成を図る「須坂市地域公共交通総合連携計画」により、市民生活に不可欠な移動を乗合公共交通で確保するため各種施策を推進する。

平成21年10月にスタートした「すざか市民バス」「すざか乗合タクシー」の実証運行を継続し、引き続き評価等を実施し、情報発信、利用促進を図るものである。

○乗合公共交通のネットワーク再編

(1)交通軸路線バージョンアップ

再編した市内バス路線により運行を継続し、乗り降りしやすい「低床式車両」、わかりやすいダイヤ等、安心して利用できる公共交通サービスを提供する。

(2)デマンド型交通(DRT)の導入

公共交通需要の小さい地域へ導入したデマンド型交通による運行を継続し、運行の効率化を図る。また、交通空白地帯への導入を図る。

○わかりやすく、使える運賃体系の整備

(1)須坂版ゾーン制運賃の導入

細かすぎず、小銭不要な運賃制度を継続する。須坂駅から各路線への乗り継ぎの際に発行する乗り継ぎ券制度を維持する。

(2)企画乗車券の検討

乗り継ぎ券の活用など、観光施設等と検討する。

○わかりやすい公共交通情報案内の整備

(1)すざか巨大迷路バスマップ(仮称)発行

観光客、生活者がともに使える「バスマップ」を作成し、公共交通情報と地域情報を合わせて提供する。

(2)停留所名称変更・情報の充実

統一した停留所名称を継続し、利用者にわかりやすい情報提供を図る。

○観光客の滞在スタイルを提案する公共交通の整備

(1)交通軸路線を活用した観光交通の整備

路線バスの運行経路や時刻表を休日時に観光客の滞在スタイルに合わせた形態に設定する。

(2)地着型旅行商品(ミニツアー)と一体化させた観光交通の開発

乗り継ぎ券の効果的な活用など、おもてなしの企画をする。

